

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ありあり		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 15日		～ 令和8年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 15日		～ 令和8年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援の提供	子ども一人ひとりに合わせた支援は行えているが、支援内容の統一や体系化には課題がある。	個別支援計画を軸に、職員間で共通理解を深め、支援の質の均一化を図る。
2	関係機関や保護者との連携	保護者との関係性は概ね良好であるが、連携の頻度や内容にばらつきが見られる。	定期的な面談や情報共有の機会を設け、より継続的な関係づくりを進める。
3	保護者への説明責任等	日々の活動の様子は伝えているものの、事業所の取り組み全体の発信は十分とは言えない。	アプリやお便り等を活用し、活動内容や支援の意図を分かりやすく発信していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備	子どもが安心して過ごせる環境づくりは概ね整っている。一方で、空間の使い方や視覚的な配慮など、より過ごしやすい工夫の余地がある。	活動スペースの整理や構造化を進め、子どもが見通しを持って過ごせる環境づくりを強化する。
2	業務改善	日々の振り返りや職員間の情報共有は一定行われているが、記録や仕組みとしての整理が十分とは言えない部分もある。	情報共有の方法を統一し、記録の活用を進めることで、支援の質の安定化を図る。
3	非常時の対応	マニュアルや体制は整っているが、実際の動きを想定した訓練や共有の強化が必要である。	定期的な訓練の実施と、職員間での役割確認を徹底する。